

9尺3Dグリットの家

ふくしま再生提案実行集団『くらし塾』

代表建設会社 藤田建設工業(株)

代表設計事務所 (有)辺見美津男設計室

代表木材会社 協和木材(株)

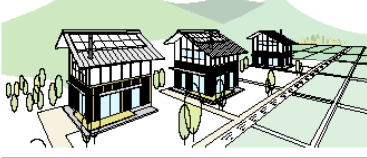
ノーモアフクシマ

相対的なエネルギー消費の
もっとも少ない福島を目指す。

「ふくしまの家」復興住宅供給システムプロポーザル 提案書

『茶の湯』から福島復興を考える—四畳半—

- ・暮らしのものを考える『ふくしまの家』『あすのこ』日本の文化『茶の湯』の精神
- ・縦、横、高さ9尺グリッドの立体構成



1. 長期利用

- ・暮らし課題『くらし塾』を開催し、暮らし方の価値観を見直しを図る。
- ・構造材全て120×120×3,000による定尺化や規格化による供給体制をつくる。
- ・固定住宅の解体後の部材の活用を図る。
- ・構造団体を法人又は組合のように組織化して3年以上、長期プランでの事業展開を図る。

2. 将来成長 (図2)

- ・縦、横、高さ9尺グリッドによる、家族構成に合わせた多様な規模作りを提供。
- ・空間に柔軟できる基本となるふくしまの家を目指す。
- ・基本規模をベースの複数プランを作成し、顧客のニーズに対応できる体制を構築。
- ・『四畳半』は、生活するために確保されたもっとも小さく無限の可能性を持つ空間としてのスケールであり、増減策に対応できる柔軟な空間である。

3. 環境対応

- ・住まい手の意識改革による環境負荷を抑えた、自然と共生するパッシブな家。
- ・全館でエネルギー消費の最も少ない構造を目指し最小で最大限の豊かな暮らしを実現
- ・12材・消費額の1/14を削減する。
- ・団体の独自の断熱仕様を確立する。

4. 廉価

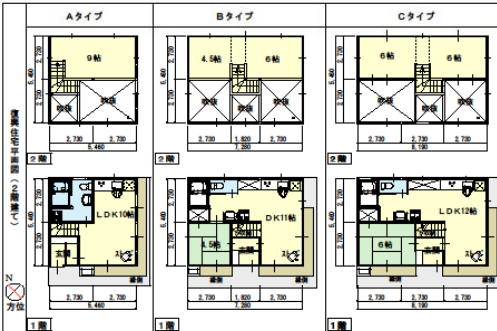
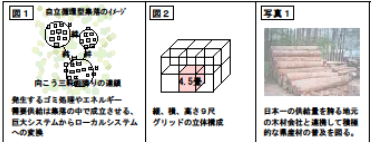
- ・1,000万円基本ベースの最小で最大の暮らしのコンパクト住宅。
- ・構成員の専断分野を無断することで良質でリーズナブルな住宅を提供する。
- ・構成員内に商業種族を確保し、協同、組合を回り安定かつ安価な資材の調達を図る。

5. 地域適合 (図1)

- ・3L2Fによる互助の精神が継承され、自立型団体の地域適合性を確立する。
- ・可能な限り県産材、地域材を使い、放射能測定の際をこまめに測定。
- ・日本の風土・福島県風土にあった軒・屋根のある外観とする。

6. 需要対応 (写真1)

- ・木造仮設住宅の経験を活かし住宅部材をパーツ毎に製作しストックするシステムをつくり大量の需要にも対応される生産体制を確立する。
- ・広大な地域構成を築き上げ、今後県内どの地域においても需要に応えられるグループ形成を図る。

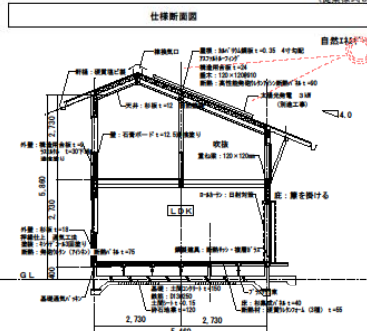


建築費	Aタイプ	Bタイプ	Cタイプ
建築本体	6,250	8,000	8,850
電気設備	700	800	900
機械設備	1,150	1,200	1,200
合計	8,100	10,000	10,950
販売価格	850万円 (約83万/坪・税込)	1,050万円 (約88万/坪・税込)	1,150万円 (約97万/坪・税込)
※未償還売価			約30万 (別巻)

■家族構成の変化等による、規模変換のパターンイメージ

■縦・横・高さ9尺グリッドでの立体構成による豊富な増築を可能とする。

■構造部材は全て4寸角の一枚材によって構成する。



※バグパイプを上手に取り入れれば空気で使う33kgfの約40%以上削減できる。なるべくなら、省エネ製品を使うというよりは、構造33kgfを少なくする空間をつくる事が大切である。

・断熱材を少し厚くして付けやすい高さにする。

・河原は石を敷き、風の通り道をつくる。

・しっかりと断熱すれば、とにかく冬は暖かい。



「団体概要」

代表設計事務所: 有限会社 近見建築設計室 松2社
 代表施工会社: 藤田建設工業 株式会社 松9社
 結果・木材関係事業者: 協和木材 株式会社 松6社

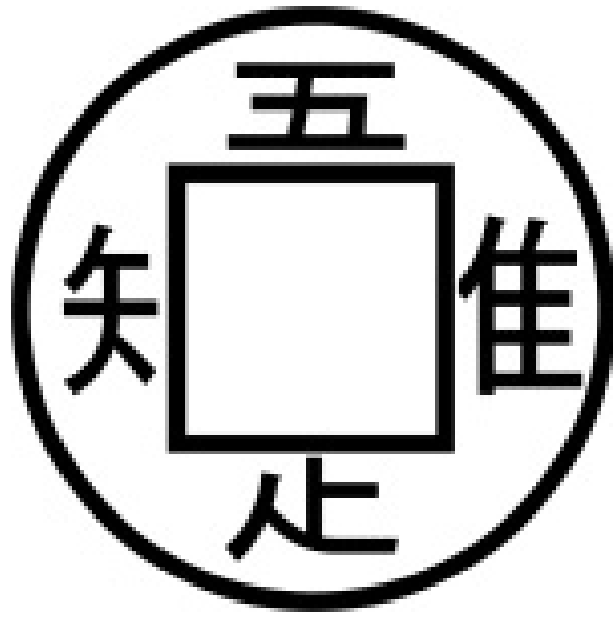
※特色: 福島県の復興、いわき地域を拠点に協力体制を県中・県北に設計拠点を置きながら迅速な対応で、連携した供給システムをつくります。標準化したシステムを構築し、運営業務に影響しない体制をつくります。

復興住宅コンセプト

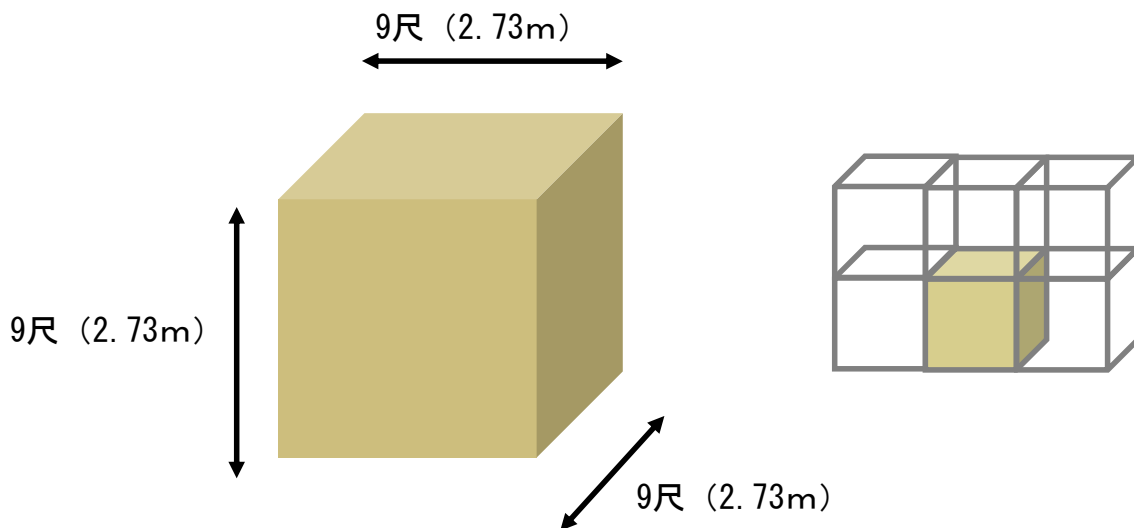
- 「豊かさ」とは、「どれだけ多くのものを持っているか」ではなく「どれだけ多くのものを必要としないか」によって測られるもの
- コンパクトな空間でシンプルにしかも豊かにくらす低廉な家を提供
- 「くらし塾」を母体とした、県民全体に広がる啓発活動を通して全国で相対的エネルギー消費が最も少ないフクシマを目指す。
- もっとも標準的な居住単位、もっとも小さな部屋として

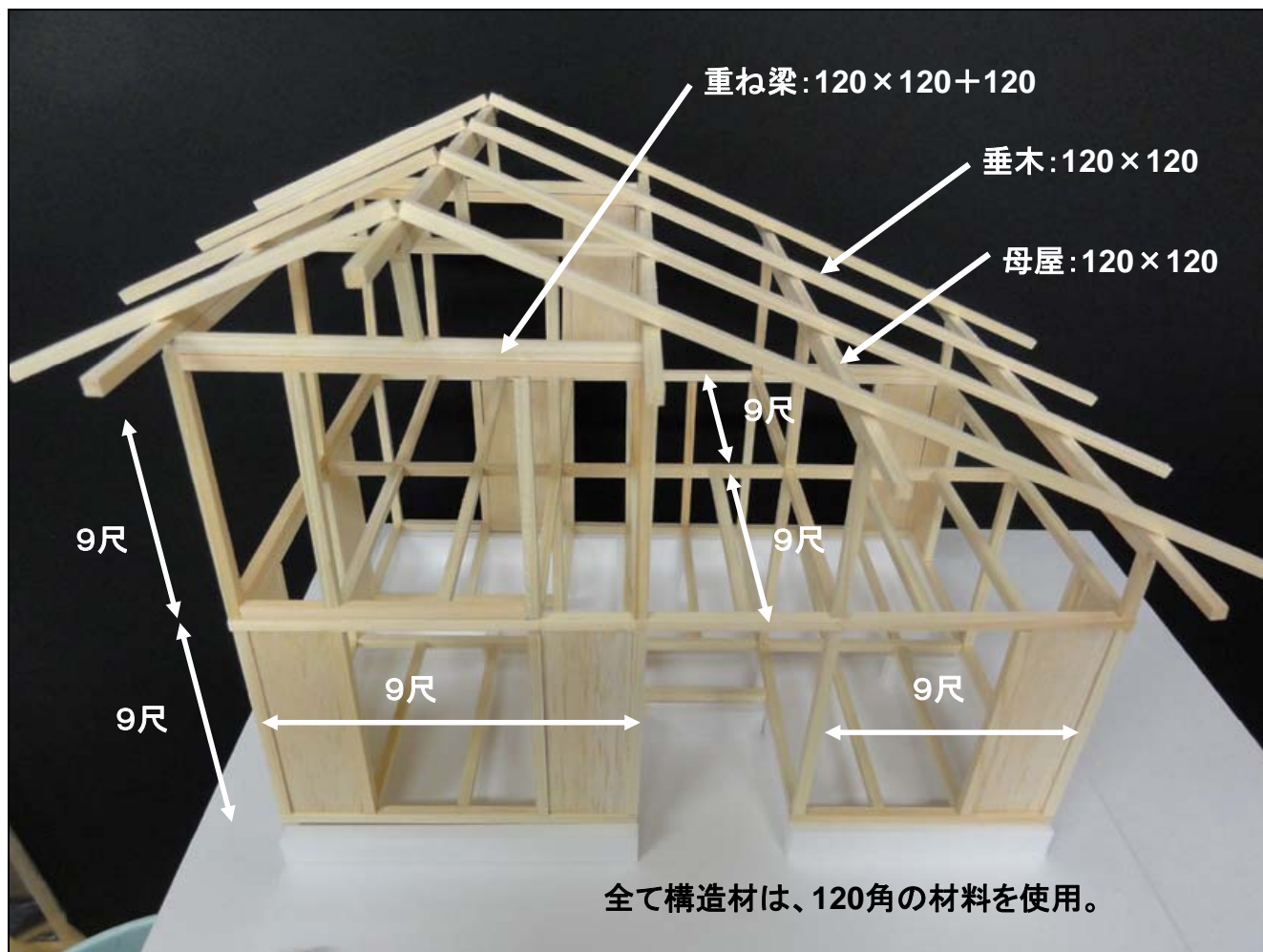


室町の茶人「村田珠光」は足りないことをよしとする「侘び茶」空間として茶の湯の精神「四畳半の茶室」



四畳半立体スケールの縦横高9尺グリッド3Dとして空間を捉える。





**福島復興なくして、
日本の復興なし**



文明の敗北
文明の改革

**福島復興から
日本のカタチを変える**



遠くても、もとのフクシマもどる道
辛くても、笑顔のフクシマかえる道
手を繋ぎ、ささえる絆ですすむ道
ともに進もう ふるさと福島



日本建築家協会 福島地域会





断熱材吹付けパネル

地域生産者グループ
 ふくしま再生提案実行集団 「くらし塾」
 生産システムの流れ (イメージ)

